

回覧



牧小学校だより

学校だより 10月号
平成26年10月6日
上越市立牧小学校



実りの秋に向かって

2学期が始まりはや1か月。朝晩の涼しさや日の暮れる時間など、秋を感じます。地域の皆様には、稲刈り等、ぬかるみでご苦労があったと聞きます。出来とともに実りを祈念しております。昨年とは異なり今年は、残暑の時期が短く、また、突然の雨が多く、子どもたちの下校時に戸惑うこともありました。気象が少しずつ変化しているのでしょうか。

さて、先日の全校朝会で「実りの秋」について、次のような話しを子どもたちにしました。

実りの秋を迎えるためには、そのための準備がなければならないこと。学習やこれから行われる持久走体会等、一人一人ができることをしっかり行うこと。努力をするから実りがある。

本年度は、「ふるさと学習発表会」として、例年の生活科・総合的な学習の時間の発表に加えて、絵画作品や工作の展示も行います。絵画や工作には、一人一人が頑張ったことを文章で表現します。教育の世界では往々にして、大人の価値観に合わせて、強い指導を加えることがあります。教師の描きたい絵を描かせたり、大人の価値観に合わせた活動の発表になったりと、我々も自戒しなければならないと考えます。

表現するという活動に対して、教える点と子ども自身に委ねる点を明確にして、指導を行う必要があります。また、今年は4年生全員の共同作品として、花をモチーフにした素晴らしい作品が会場を飾ります。子どもの生き生きと学ぶ姿の表れといえます。

活動の発表会では、地域の皆様やお世話になった学校応援団の皆様も招待します。子どもたちの「伝えたい」という気持ちが結実できることを期待しています。

ぜひ、地域の皆様、保護者の皆様からお越しいただき、子どもたちの姿を応援していただければ幸いです。

(親跡 久樹)

